



「ミス日本みどりの大使」とは

公益社団法人国土緑化推進機構Webサイト「みどりの大使」
(<https://www.green.or.jp/promotion/midorino-taishi/entry-1679.html>)



「第48回全国育樹祭みやぎ2025」に参加し、改めて森を守り育てることの大切さを感じました。植えて終わりではなく、植えた後に「人の手で森を育てていくこと」に焦点が当てられており、秋篠宮皇嗣同妃殿下による枝打ち、施肥などが行われました。私は式典会場にて来場された方々に「緑の募金」への協力を呼びかけました。募

未来の森を育てる

みどりの大使が行く！



2025

ミス日本
みどりの大使

佐塚 こころ



金を通じて、森林整備や環境保全に関心を持ってもらうことや木の製品を身近で使わせていただくことも、また、「森を育てる」一つの形なのだと思います。式典会場には足を止めて募金してくださる方がたくさんいらっしゃり、「緑を未来につなげていく」想いが多くの人の中に確かにあることを実感しました。たくさんの方の小さな行動が森を支えている。このことを改めて感じられた時間でした。森を育てることは自分たちの世代だけでなく、自然と人とが互いに長く寄り添っていく継続的な取組であり、それを多くの人と共有できたことがとても嬉しかったです。

森を育てる現場を支える最新技術

育樹祭記念行事のみやぎ2025 森林・林業・環境機械展示実演会では、最新の技術に触れ、林業の現場が時代とともに大きく進化していることを目の当たりにしました。広い会場には、伐採や集材に使う大型



切にしていることが伝わってきました。特に印象に残った出展は生分解性チェーンオイルです。これまでのチェーンソーではどうしてもオイルが周辺に残ってしまい、森を汚染する1要因になっていたと伺いました。それを改善し、自然へ還るオイルの登場は「森を育てる」という面から無理にならなく感じました。効率化を進めながらも自然への思いやりを忘れない姿勢に、深い感銘を受けました。

まだまだ林業は「きつい仕事」と認識される方も多いと思いますが、快適な仕事環境が整っているイメージと、自然環境に優しい林業というイメージが広がれば人と自然をつなぐ未来の産業になると感じます。

